

平成26年度 学校関係者評価

実践目標【A：よく出来ている B：ほぼ出来ている C：あまり出来ていない D：まったく出来ていない E：わからない】

(学校評議員5名)

領域	評価の観点	評価項目	実践目標	1	2	3	4	5
学校運営	開かれた学校づくり	1 中学校への広報活動の推進	・学校説明会や部活動体験、中学校訪問等の広報活動を積極的に行い、本校の特色や魅力をPRする。	B	B	C	B	B
		2 ホームページによる情報発信の充実	・発信すべき情報の収集とアップロードを迅速に行う。	A	B	B	B	B
	生徒指導	3 生徒指導方針と指導体制の確立	・全教員の統一した指導と保護者の連携を図る。 ・生徒指導部を中心に全教員で組織的に指導する体制を構築する。 ・保護者との連携を強化し、学校と保護者の双方で指導する。 ・進路指導の観点から生徒の意識向上をはかる。	A	B	B	B	B
		4 社会の一員としての自覚と責任感の育成	・規則を守り、協力しながら各自の責任を果たすことにより、社会が成り立っていることを理解し、行動できるようにする。 ・交通ルールを守ることは、自他とも命を大切にするととの観点から指導を行う。 ・規範意識向上への取り組みを行う。	A	B	C	A	A
	進路指導	5 適性に合った進路選択の推進	・就職ガイダンス・進路ガイダンスや進路模試を実施し、進路に対する意識を高める。 ・企業見学に参加できる環境を整える。	A	B	B	A	A
		6 生徒・保護者への情報提供	・進学通信を年6回発行し、情報提供を行う。 ・保護者対象に日本学生支援機構の予約奨学金説明会を開催する。	A	B	A	B	B
	教職員の資質向上	7 計画性を持った研修の実施	・年に3回、各学期末に職員研修を計画的に開催する。また、職員会議や職員研修会において、外部研修で得た知識・情報の報告会を行い、最新の情報を全教員で共有する。	B	A	E	E	B
	危機管理体制の整備	8 防火・防災マニュアルの検証	・災害時の被害を最小限にするため、災害発生時の避難経路や緊急時の対応など安全対策を検証し実効性のあるマニュアルづくりに努める。	B	B	B	B	B
課題教育	確かな学力の確立	9 基礎学力の定着	・進路指導部、進学指導部と提携し基礎学力の充実に努める。 ・朝学習の10分間を利用して基礎学習の復習や検定試験対策等、基礎学力の定着を図る。	A	B	B	B	C
	特色ある学校づくり	10 地域との連携	・うおずみんふるさと創生プロジェクトへの参画や中高連携事業市内中学3年生対象電卓講座を開催するなど地域との連携を推進する。	A	A	A	A	B
		健やかな体の育成	11 健康状態の把握	・担任や教科担当、部活動顧問との情報交換や保健室利用状況より、生徒個々の心身の健康状態の把握に努める。また、必要な時には、保護者・医療機関と連携を取り合う。	B	B	B	E
	12 保健に関する情報発信の強化		・感染症をはじめ、保健に関する情報を速やかに発信し、生徒の健康増進、疾病予防に努める。	B	B	C	E	E
	豊かな心の育成	13 カウンセリングの充実	・日常の保健室利用において、生徒個々に抱える問題を早期に発見し、個に応じたカウンセリングを実施する。スクールカウンセラーと連携をはかりながら問題解決に努める。	B	B	B	B	E
	人権教育	14 人権教育の高揚	・人権教育の全体計画を見直し最新版を作成する。 ・緊急課題や研究発表について必要に応じてワーキンググループを結成し、その効果については推進委員会で検証する。	B	B	B	E	B
		15 規範意識と道徳性の向上をめざす	・市民としてのモラルや規範意識の向上をめざし、自律的な行動がとれるように体験的な指導を工夫する。	A	B	C	B	B
	読書活動の推進	16 図書活動の推進	・「図書館miniニュース」の発行に際し、新着紹介の記事を増やし、図書館運営委員等の執筆記事を掲載する。	B	A	B	E	B
	商業科教育	17 在校生・将来の明商生に興味関心を提供できる取り組み	・明石商業の商業科を卒業して「よかった」と思える教育を実践する。資格取得、検定合格等で達成感を持たせ様々なことに挑戦する積極的な姿勢を養う。	A	B	A	B	B
国際会計科教育	18 より魅力ある学科を目指す	・カリキュラムの検討、HP等での情報発信、生徒が希望する進路の実現を図る。	A	B	A	E	B	
	19 高大連携の充実	・学校間交流など外国人と交流する機会を設定し、英語力を高める。 ・大学や専門学校の出張講義などを通して確かな学力を図る。	A	B	A	B	B	